



三島町立三島中学校

桐の里だより

【教育目標】

心豊かな生徒、自ら学ぶ生徒、たくましい生徒

令和4年10月号 校長 鶴水 達也



「自分の力を信じて、頑張ってください」

10月4日に新人大会(協会主催)に向けた壮行会が行われ、3年生から1・2年生に熱い応援があり、「自分の力を信じて、頑張ってください」と激励のメッセージがおくられました。

また、10月1・2日と各部活動で3年生の引退試合が行われ、先輩から後輩に、部活動のバトンタッチが行われました。さらに、先輩に感謝の気持ちと今後の抱負を伝えることもできました。



【応援団長(3年生)からのエール】



【壮行会后に全校生で記念撮影】



【女子卓球部・引退試合(10/1)】



【男子バレー部・引退試合・心のバレー杯(10/2)】

「夢があったから、勉強を頑張れた」「好きなことがあったから頑張れた」

国立天文台 上席教授 渡部潤一様

将来につながり、学習意欲が高まるメッセージをいただきました。そして、新生徒会長(2年生)のお礼のこぼ「この出会いと学んだことを大切にしたい」と、すばらしい振り返りもありました。

10月3日に国立天文台上席教授**渡部潤一様**を、お迎えして、小・中学校合同で「地球は宇宙のどこにあるのか？」を演題として講演会を行いました。講演では宇宙について解説をいただくとともに、**少年時代の話は子どもたちを将来につなげる有意義な経験談**でした。また、多くの保護者のみなさまにもご参加いただいたことに感謝申し上げます。

【ほめポイント】今回の講演会の運営は小・中学校の子どもたちが協力して行いました。これは非常に意義あることです。大変立派な運営でした。小学生も中学生も、さすが三島っ子です。

「はい」に込められた思い ～新・生徒会がスタートしました！～

10月11日の朝会で新生徒会役員の任命を行いました。その呼名への返事「はい」には熱い決意がこもっていました。

そして、10月14日の生徒会総会の企画・運営を主体的に行い立派でした。特に感心したことは選挙公約について、今後の見通しを明確にしたことです。**生徒会総会が、将来や社会につながる学びの場**になりすばらしかったです。

「地域に必要なことを考えます」 ～三島町を考える子どもたち～

一つ目の話題は、只見線全線開通にあわせて行った地域の奉仕活動です。前生徒会長(3年生)が、「地域に必要なことを考えましょう」と全校生に目標として伝えました。その成果で、ごみを拾う作業でしたが、**子どもたちには地域のことを考える機会**になりました。前生徒会長のすばらしい目標の成果は大いにありました。さすが3年生の生徒会長です。以下は、子どもたちの感想です。

「気持ち良く会津に来ていただけたら嬉しいです」、「三島町のゼロカーボンにつながります」、「ごみが少ないことは、三島町の人がふるさとを考えている証拠です」

二つ目の話題は、只見線全線開通に向けた歓迎の横断幕づくりです。「私たちも何かできないかな?」、「横断幕をつくるのはどうか!」、子どもたちから素敵な提案がありました。

子どもたちが只見線の歴史を勉強し、そして**地域のことを考え、主体的に企画・運営**しました。このアイデアや行動力はすばらしいです。

有意義だったPTA懇談会 ～話し合い、ありがとうございました～

「子どもとのコミュニケーションは、食事の時間や好きなことを一緒に楽しむ時間が大切だと思いました。この懇談会を切っ掛けに子どもとのコミュニケーションを深めていきたいです」と、PTA会長が懇談会のまとめを行いました。

9月15日に「子どもとのコミュニケーションのとり方」を話題に、PTA懇談会を行いました。具体的に有意義な話し合いができました。保護者のみなさま、お忙しい中、ありがとうございました。



【校長のひと言】ホームページ、定期的に更新中です。現在71、112閲覧(7月号発行時66、175閲覧)、3ヶ月間で5、000閲覧でした。記事への多数の「いいね!」もありがとうございます。